南渡島保健医療福祉圏域連携推進会議 在宅医療専門部会

日時 令和2年3月13日(金) 方法 書面開催

1 会議内容

- (1) 在宅医療・介護連携推進事業に係る広域連携について
- (2) 在宅医療の提供体制の「地域単位」ごとの状況及び課題について
- (3) 南渡島地域推進方針の進捗状況について
- (4) 令和2年度 在宅医療関係の取組について

【委員の意見等】

- (1) 在宅医療・介護連携推進事業に係る広域連携について
 - ・はこだて医療・介護連携サマリーが道南全域に広がると良いという感想を持った。
 - ・在宅診療医の立場から言えば、函館市が作成している患者情報の紹介シートは、入・退院 時に相互に交換できることから大変有用だと思っている。

「東部地域」「西部地域」での意見交換会の開催時に、現場の医師・看護師・介護スタッフ等にも説明する機会を作れば、理解が深まり連携がより前進するものと思う。

- ・函館市においては、この4年間で医療・介護連携に係る連携方法等一定のルール化がなされ、各専門職向けの研修等も活発に行われている現状にあり、地域間での格差が生まれつつあると感じている。特に、高齢者分野において連携の要となるケアマネジャーが函館市内におけるルールを知らずにいると町民への不利益にもなると考えられ、可能であれば医療・介護連携支援センターへの事業の委託等も検討できればと考えている。
- (2) 在宅医療の提供体制の「地域単位」ごとの状況及び課題について 地域単位として分類されましたが、それぞれの町の現状に違いがあり、課題は共通で あっても、取組の方向性はそれぞれの町で違ってくると思われる。
- (3)緩和ケア体制の整備について

この地域の緩和ケア体制ルール等の検討は、南渡島地域包括緩和ケアネットワークが中心となって行っている。その状況も踏まえ、今後の方向性に「南渡島地域包括緩和ケアネットワークとの連携」という文言が入ると全てがやりやすくなる。

2 今後の取組予定

- ・在宅医療専門部会の開催
- ・渡島保健所管内における在宅医療・介護連携に関する意見交換会への参画
- ・ 多職種合同研修会への協力
- ・実態把握のための調査の実施 (訪問診療・訪問看護サービスが十分ではない地域におけるニーズ、施設看取りの実施状況について)
- ・函館市との広域連携に関する検討